



祐介の目

No.158

大田祐介 (福山市議会議員)

いた。私は高校生の頃から車やバイクに興味があり、大阪産業大学短期大学部自動車工業科に入学後、祖父が「大産大の創立者・瀬島源三郎は親戚だ」と語った意味がようやく分かった。傳三郎

大阪産業大学

母方の祖父・大谷熊夫の家は岡山県美咲町のポツンと一軒家だ。最近、叔父が60年振りに終の棲家としてUターンした。叔父の子供は娘のみで、大谷家も叔父の代で終わる。ならばそのルーツを確認したく祖父の戸籍謄本を取った。

驚いたことに祖父の長兄は若くしてダバオで亡くなり、三男の祖父は夫婦で次兄の養子となっていた。私の記憶では次兄に障害があり、次兄の為に祖父は成年後見人になったと思われる。また、出生後数日で亡くなった私の知らない叔父もいた。かように戸籍は面白い。なお、令和6年3月に戸籍法が改正され、本籍地に行かずとも全国オンラインで直系尊属・卑属の戸籍謄本が取れるようになった。相続手続き等が楽になったし、家系図を作るにも大変便利だ。さらに曾祖父は瀬島傳三郎といい、曾祖母・大谷つると結婚して大谷傳三郎になって

と源三郎は従兄弟か何かだったのだろう。瀬島源三郎は昭和3年に大阪鉄道学校を創立し、戦後は車社会の到来を予見して大阪交通短期大学に発展させ、昭和50年に大阪産業大学と改めた。何も知らずに進学したが、会ったことも無い曾祖父・傳三郎の導きだったのだろうか。

さらに調べると源三郎の孫・瀬島順一郎先生は20年前に大産大の学長を務めていた。校友会を通じて連絡が取れ、源三郎の定めた校訓「偉大なる平凡人たれ」の意味を教えていただいた。富士山の頂上は狭い場所であり、そこを目指すのではなく広い裾野で「常に社会貢献を価値とする人物」の育成を建学の精神として掲げられたそうだ。

先日、校友会広島支部総会に加藤陽一郎議員と一緒に参加し、多くの偉大なる諸先輩と交流することができた。附属の大阪桐蔭高校は甲子園で有名だが、これからはもっと大産大をPRしたいと感じた。